

久慈農業改良普及センターだより



普及センター情報 208号

平成21年5月1日発行

久慈農業改良普及センター

TEL: 0194-53-4989 FAX: 0194-53-5009

普及センターホームページは検索画面で..

久慈農業改良普及センター 公式

検索

○ 所長挨拶 ○

今年は春から反転攻勢！みなさん元気でさあ頑張りましょう！

今年の桜前線はとても急ぎ足です。桜の便りに誘われて、農作業の始まりも幾分早いようで、農家のみなさんにとってはもう春本番ですね。お疲れ様です！

毎年のことですが、定期人事異動により新採用を含む前途洋々な若い4人の新しい仲間が加わり、若手からベテランまで重厚な年齢構成の17名の職員がそれぞれ新たな気持ちで新しい年度の第一歩を踏み出しています。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

さて、新年度に当たって以下の3点を肝に銘じて、職員一同頑張っ



所長 茂市 修平

① 経営感覚を持った仕事をしよう！

昨年の生産資材や飼料価格の高騰はこれまで経験したことのないもので、農畜産物価格の低迷も重なり、厳しい経営を強いられたことと思います。みなさんの経営がどんな状況にも耐えられるよう支援していくことが普及センターの最大の役目です。日々の業務の中で、収益性の向上や経営改善等の意識を強く持って活動していきたいと思ひます。

② 消費者の視点を大事にしよう！

昨年の農業農村再発見講座では一般消費者と素晴らしい出会いをすることができました。ヤマブドウなどを題材にした農業体験や研修等を通じて、受講生の方々から「農業農村の応援隊になりたい」との感想が寄せられました。そして、後日、20数名の方に農業農村モニターとして農家のみなさんの農産物加工品の評価に協力いただき、貴重な意見や提言を得ることができました。生産者と消費者が手を携えて地域農業の活性化に取り組んでいく、こんな繋がりをさらに強めていきたいものと思ひています。

③ 現場に密着した活動を基本に、農家に信頼・愛される普及員を目指そう！

当普及センターのスローガンです。農家のみなさんに信頼され、愛される普及員であればこそ、みなさんの期待に応える仕事ができると思ひからのものです。私自身もできるだけ現場に出たいと思ひます。よろしくお願いいたします。

昨年度は厳しい情勢の中でも、一等米比率が過去最高の82%、地元産酒米による初の地酒「涼霞」の誕生、ほうれんそう販売額の減少傾向に歯止め等々、明るい話題も沢山ありました。これまでの取り組みに確信を持ちながら、今年は春から反転攻勢！みなさん元気でさあ頑張りましょう！

○ 平成21年度 久慈農業改良普及センター活動体制 ○

今年度も昨年と同じ定員17名で、次のような体制で地域課題の解決をめざして取り組みます。チームの仕事を重点に取り組みますが、水稻指導会や園芸品目別指導会等には職員それぞれの専門性を活かして他のチームにも参画します。

今年は水田農業で直播や飼料用稲に取り組む「耕畜連携推進プロジェクトチーム」と、農業青年の活動を支援する「4Hクラブ活性化プロジェクトチーム」を立ち上げました。

なお、平成19年7月に農協内に設立された、「久慈地方園芸推進センター」には普及センター職員1名（桑原主任）が常駐して、指導支援にあたります。

【 職員分担 】 ※ 各課長は①～③のチームの担当です。

<p>マネジメントグループ</p>	 <p>茂市所長</p>	 <p>飯村課長(③)</p>	 <p>君成田課長(②)</p>	 <p>小野寺課長(①)</p>	
	<p>チーム長</p>		<p>メンバー</p>		
<p>①担い手育成チーム ・新規就農者、認定農業者の育成・確保 ・集落営農の推進 ・畜産指導等</p>	 <p>藤原主任</p>	 <p>中西主任</p>	 <p>武田主任</p>	 <p>佐藤農普</p>	
<p>②農村活性化チーム ・産直起業支援 ・地産地消・食文化の推進 ・ヤマブドウ振興 ・基盤整備地区等の営農支援</p>	 <p>高橋上席</p>	 <p>大里主任</p>	 <p>(新)小田主任</p>	 <p>(新)菊池技師</p>	
<p>③産地育成チーム ・ほうれんそうなど園芸の産地育成 ・売れる米づくりの推進 ・環境保全型農業の推進</p>	 <p>伊藤主任</p>	 <p>桑原主任</p>	 <p>(新)小川農普</p>	 <p>高橋(大)農普</p>	 <p>(新)菅農普</p>

今年度の転入者（4名）の自己紹介です。【①名前 ②出身地 ③担当 ④前任地 ⑤ひとこと】

<p>① おだ ゆたか 小田 豊</p> <p>② 盛岡市</p> <p>③ 農村活性化、果樹</p> <p>④ 農業普及技術課</p> <p>⑤ 家族4人で参りました。久慈地域の美味しい食を沢山頂いて、公私共々フルパワーで頑張ります！</p>	<p>① おがわ よう 小川 陽</p> <p>② 東京都</p> <p>③ 産地育成(花き)</p> <p>④ 二戸普及センター</p> <p>⑤ 花きを担当します。久慈の自然を楽しみながら、農家の皆さんと一緒に活動したいと思います。どうぞよろしくお願いします。</p>	<p>① かん ひろかず 菅 広和</p> <p>② 花巻市</p> <p>③ 産地育成(農産)</p> <p>④ 病虫害防除所</p> <p>⑤ 内陸生まれなので、沿岸の暮らしを楽しみにして来ました。久慈地域の農業、風土に慣れたいと思います。</p>	<p>① きくち なみ 菊池 奈美</p> <p>② 花巻市</p> <p>③ 農村活性化</p> <p>④ 新採用</p> <p>⑤ 初めての仕事、一人暮らしでワクワクしています。久慈で多くのことを学び頑張りたいと思います。</p>
--	--	--	---

○ 「いわて久慈周辺短角牛MAP」ができました！ ○

～ 研究グループ「奇跡の短角牛」の取り組み ～

久慈地方の特産物である「短角牛」。みなさんは食べたことがありますか？このたび、久慈周辺で短角牛をつかった料理を提供しているお店を紹介するパンフレットが出来ました。これは、短角牛の若い生産者4名と肉の若手加工業者3名が、短角の付加価値を高めようと研究会を立ち上げ、企画したものです。

研究会では、闘牛大会や久慈市産業まつりで消費者アンケートを行い、「短角牛は知っているけど、どこで食べられるか知らない」という声が圧倒的に多いことがわかり、MAPのパンフレットの作成を企画しました。デザインは、「山形村短角牛」のポスターもお願いした研究会会長の友人で盛岡市在住のプロデザイナー、岩井澤氏に依頼しました。

かわいい短角牛のイラストや闘牛大会のお知らせ等が付いたわかりやすい地図で14店舗を紹介しています。道の駅や短角牛を扱っているお店に置いてあります。皆さんも手にとって見てくださいね。



このほど作成された
「いわて久慈周辺短角牛MAP」

○ 水稲の省力・低コスト栽培実証を目指して！！ ○

久慈地方でも、水稲の省力・低コスト栽培技術の確立と、畜産農家との連携による水田の一層の有効活用を目指して、今年度から関係機関と連携のもと、水稲の直播栽培とロングマット苗移植栽培の実証圃を設置して検討を始めます。

下記の日程で実演会を開催予定です。是非、足をお運びください。



県農業研究センターで
昨年度開発された「作溝同時直播機」

- | | |
|---------|---|
| 1. 実証内容 | 直播栽培（主食米とイネホールクroppサイレージの生産）
ロングマット苗移植栽培（主食米の生産） |
| 2. 場所 | 久慈市大川目 |
| 3. 実演会 | 5月27日（水）を予定 |

※直播は上記場所にて、5月上旬、中旬頃にも実施予定ですが、その際には説明会はありません。

○ 技術情報 ○

◇◆ ほうれんそう ◆◇

種子の切り替えに伴い播種機の調整をしっかりと行いましょう。播種前後に寒気が入るようなときは、べたがけ資材を活用し発芽を促進させましょう。

1～2作目は、コナダニ類やべと病の被害が心配されます。初期防除を的確に行い、被害ゼロを目指しましょう。

品種が「プリウス」「スーパースター」の場合、べと病抵抗性がレース1～5と弱いので発芽後はハウスの換気につとめ、過湿にしないように十分注意してください。薬剤による防除も、子葉期からの散布をおすすめします。「ミラージュ」は抵抗性がレース1～7と強いですが、念のため本葉4～6枚時までにランマンフロアブルを1回は予防散布してください。

<コナダニ類防除体系>

①本葉出始め～2枚頃：DDVP乳剤 50 を散布（カスケード乳剤の加用で効果高まる）

②本葉4枚～6枚頃：カスケード乳剤を散布

※20～30 粒/1a、十分量ていねいに散布すること。

<べと病防除体系>

①子葉期 ヨネポン水和剤 → ②本葉2～4枚時 ランマンフロアブル
または、

【多発時】 リドミル粒剤2を播種時に全面土壌混和

※深く混ぜすぎると防除効果が劣るので注意すること。

◇◆ 水 稲 ◆◇

★ 育苗期は基本となる温度管理や水管理を徹底し、健苗育成につとめましょう。

★ 異なる品種が混ざらないように、十分に気をつけて管理を行いましょう！

★ いもち予防等の箱施用剤は、原則としてハウス内で使わないようにしましょう。

<育苗期の管理>

○ハウス内温度：日中が20～25℃、夜間は5～10℃を目標にしましょう。

田植え数日前からは低温時を除き夜間もハウスを開放して外気に慣らします。

○水管理：かん水は原則1日1回、午前の早いうちにたっぷり。

育苗期後半で1回ではかん水不足となる場合には、しおれ防止程度にとどめます。

○病害対策：温度管理や水管理が重要です。病害が発生しても使用できる薬剤はありません。

○プール育苗：2葉目が出葉し始めたら、培土が隠れる水深で管理します（水位に注意）。

2回目の入水以降は、低温時を除きハウスを昼夜開放します。

<本田準備>

○土づくり・施肥：いもち病や倒伏防止等のため、秋にケイ酸質資材を入れていない圃場には散布しましょう。
基肥は施肥基準を参考に施用してください。

○圃場準備：漏水防止や低温時の深水管理に備え、畦畔の補修やかさ上げをしましょう。

耕起深は15cm以上を目標にし、代かきは丁寧に行いましょう。

代かきから田植えまでの期間はできるだけ短くしましょう。

<田植え>

○田植えは、暖かい日や風のない日に行いましょう。

○箱施用剤を使用する場合は使用量を厳守し、散布はハウス外など後作の野菜等へ影響がない場所で行ってください（農薬残留防止）。

○田植え直後は葉先が2～3cm程度水面から出る程度の深水、活着後は2～3cmの浅水で水温上昇に努め、分けつの発生を促進しましょう。

○春の農作業安全月間スタート(4月15～6月15日)○

平成21年度農作業安全運動スローガン

急ぐより 家族の笑顔を大切に 想う心で ゆとりの仕事

県内では毎年、農作業中の死亡事故が10件以上発生しています。これらの多くが農作業機械の転落・転倒によるものです。いつもの機械、慣れた作業でも危険なポイントをしっかりと押さえ、注意を向ける所を再確認して作業に臨んでください。